

県老健 平成25年度 第2回看護部会研修会 アンケート集計結果

研修日：平成 25年 7月 5日(金)

会 場：ウヰリング横浜 12階
研修室 124・125号室

テーマ：看取り後のエンゼルケアとパートナーシップ

講 師：横浜祭典株式会社
田口 裕樹 氏
奥山 幸一 氏

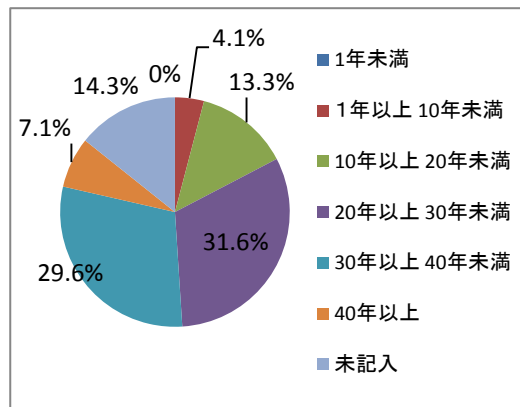
参加人数： 107 名

集計枚数 98枚
 集計日 平成25年7月8日
 回収率 91.6%

☆ 参加者について ☆

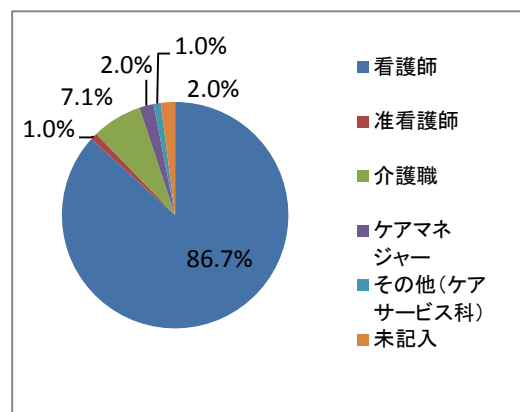
①看護職経験年数

| | | |
|-------------|-----|-------|
| 1年未満 | 0名 | 0% |
| 1年以上 10年未満 | 4名 | 4.1% |
| 10年以上 20年未満 | 13名 | 13.3% |
| 20年以上 30年未満 | 31名 | 31.6% |
| 30年以上 40年未満 | 29名 | 29.6% |
| 40年以上 | 7名 | 7.1% |
| 未記入 | 14名 | 14.3% |



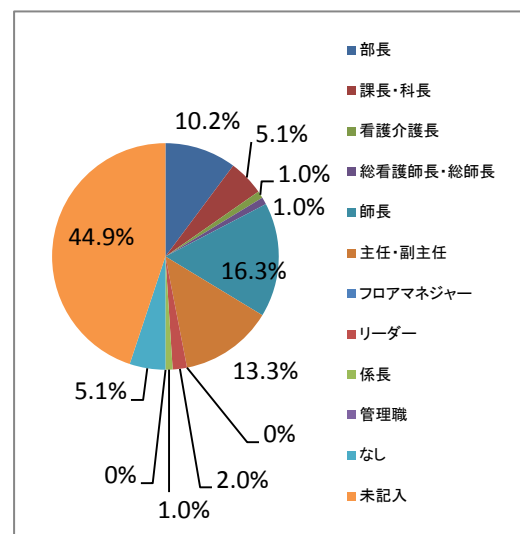
②職種

| | | |
|--------------|-----|-------|
| 看護師 | 85名 | 86.7% |
| 准看護師 | 1名 | 1.0% |
| 介護職 | 7名 | 7.1% |
| ケアマネジャー | 2名 | 2.0% |
| その他(ケアサービス科) | 1名 | 1.0% |
| 未記入 | 2名 | 2.0% |



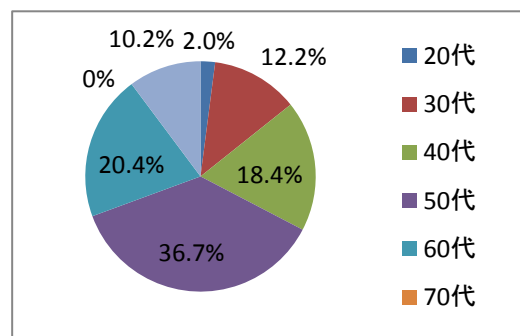
③役職

| | | |
|-----------|-----|-------|
| 部長 | 10名 | 10.2% |
| 課長・科長 | 5名 | 5.1% |
| 看護介護長 | 1名 | 1.0% |
| 総看護師長・総師長 | 1名 | 1.0% |
| 師長 | 16名 | 16.3% |
| 主任・副主任 | 13名 | 13.3% |
| フロアマネジャー | 0名 | 0% |
| リーダー | 2名 | 2.0% |
| 係長 | 1名 | 1.0% |
| 管理職 | 0名 | 0% |
| なし | 5名 | 5.1% |
| 未記入 | 44名 | 44.9% |



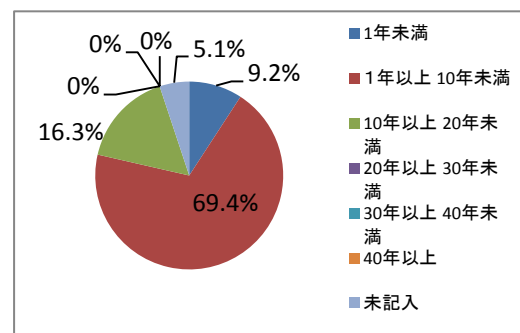
④年齢

| | | |
|-----|-----|-------|
| 20代 | 2名 | 2.0% |
| 30代 | 12名 | 12.2% |
| 40代 | 18名 | 18.4% |
| 50代 | 36名 | 36.7% |
| 60代 | 20名 | 20.4% |
| 70代 | 0名 | 0% |
| 未記入 | 10名 | 10.2% |



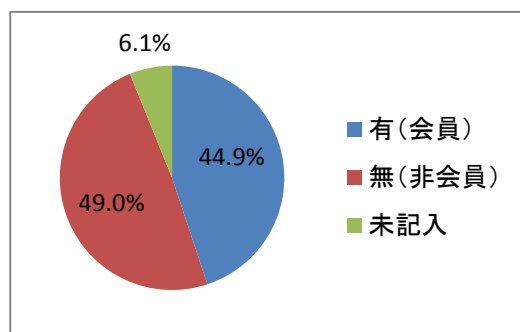
⑤現職での経験年数

| | | |
|-------------|-----|-------|
| 1年未満 | 9名 | 9.2% |
| 1年以上 10年未満 | 68名 | 69.4% |
| 10年以上 20年未満 | 16名 | 16.3% |
| 20年以上 30年未満 | 0名 | 0% |
| 30年以上 40年未満 | 0名 | 0% |
| 40年以上 | 0名 | 0% |
| 未記入 | 5名 | 5.1% |



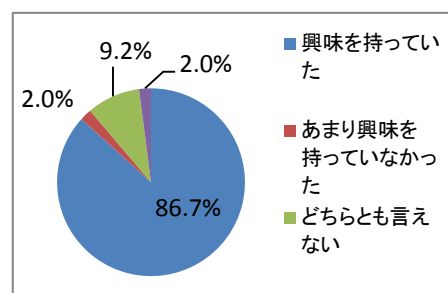
⑥看護協会入会の有無

| | | |
|--------|-----|-------|
| 有(会員) | 44名 | 44.9% |
| 無(非会員) | 48名 | 49.0% |
| 未記入 | 6名 | 6.1% |



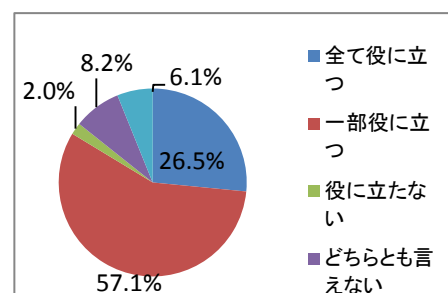
1.研修内容について

| | | |
|------------------|-----|-------|
| ① 興味を持っていた | 85名 | 86.7% |
| ② あまり興味を持っていなかった | 2名 | 2.0% |
| ③ どちらとも言えない | 9名 | 9.2% |
| ④ 未記入 | 2名 | 2.0% |



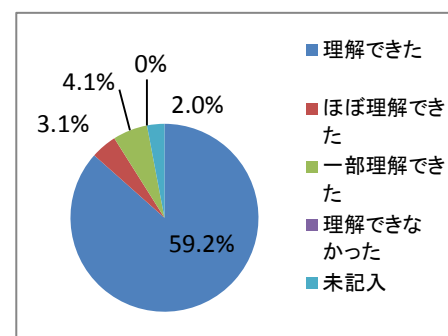
2.実践への応用について

| | | |
|-------------|-----|-------|
| ① 全て役に立つ | 26名 | 26.5% |
| ② 一部役に立つ | 56名 | 57.1% |
| ③ 役に立たない | 2名 | 2.0% |
| ④ どちらとも言えない | 8名 | 8.2% |
| ⑤ 未記入 | 6名 | 6.1% |



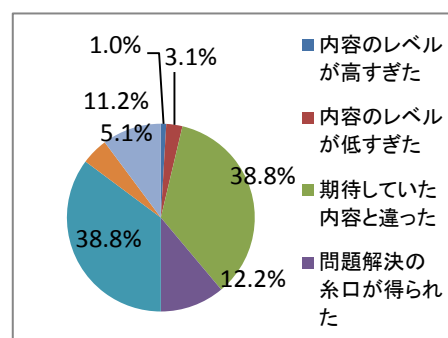
3.理解度について

| | | |
|------------|-----|-------|
| ① 理解できた | 58名 | 59.2% |
| ② ほぼ理解できた | 3名 | 3.1% |
| ③ 一部理解できた | 4名 | 4.1% |
| ④ 理解できなかった | 0名 | 0% |
| ⑤ 未記入 | 2名 | 2.0% |



4.研修全体を通しての感想

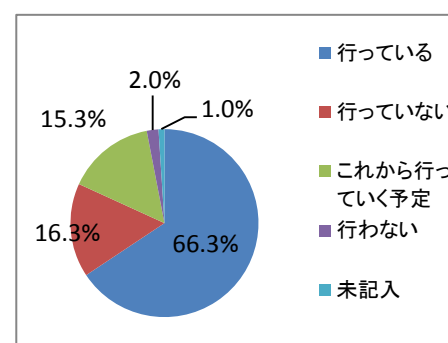
| | | |
|-------------------|-----|-------|
| ① 内容のレベルが高すぎた | 1名 | 1.0% |
| ② 内容のレベルが低すぎた | 3名 | 3.1% |
| ③ 期待していた内容と違った | 38名 | 38.8% |
| ④ 問題解決の糸口が得られた | 12名 | 12.2% |
| ⑤ 今後の課題や方向性が見つかった | 38名 | 38.8% |
| ⑥ 他の施設と問題の共有ができた | 5名 | 5.1% |
| ⑦ 未記入 | 11名 | 11.2% |



※ 10名の方が、複数回答(2コずつ)されたため、合計 108名となり、100%を超えています。

5.自施設での看取りについて

| | | |
|---------------|-----|-------|
| ① 行っている | 65名 | 66.3% |
| ② 行っていない | 16名 | 16.3% |
| ③ これから行っていく予定 | 15名 | 15.3% |
| ④ 行わない | 2名 | 2.0% |
| ⑤ 未記入 | 1名 | 1.0% |



※ ②③の両方に✓をつけた方 1名 のため、合計 99名となり、100%を超えています。

6. 葬儀屋さんへの質問、要望など

- ・今回は病院での死、病院は治療の場なので、治療の影響が死後時間が経過する上でなんらかの障害はあったかもしれない。
もし今後、施設等で自然に枯れていかれた場合はどうなるのかを比較してほしい。
現在、詰め物をしない方向なので、どちらを選択すれば良いか迷いました。
- ・霊安室でお線香・ロウソクをたきません。
遺族の方はどのような感想を持つのでしょうか(ロウソクは電気式を使用しています)。
- ・入れ歯は、入れて火葬して良いのか？以前は、入れ歯はいれなかったが…。(解決済み)
- ・納棺師のライセンスはどうするのか。
どこで活躍しているのか。
- ・綿詰め、顎バンド等を使用しない・下腹部を圧迫しない等が、新しいエンゼルケアの方法と聞きますが…。 → あとで発赤が出現する。
- ・当施設では綿を詰めるのではなく、固まるスプレー(セーフティキット)を使用し、行っています。
自然の形で、とても良いと家族からは好評です。
- ・亡くなったとき、ご自分の好きなお洋服を着ていますが、自宅に帰ったときは白い着物に着替えるのですか？(解決しました)
- ・看取りの方向になった利用者の家族より、亡くなった後の段取りを聞かれ、葬儀屋さんにお任せするように話しました。
施設ではどの程度の説明をしてあげれば良かったのかと思いました。
- ・業務内容が解らないので、エンゼルケアを施設で行っているがケースバイケース。
- ・死後の処置のときに、現在はあまり綿詰めをせず、吸引をして水分を全部引き、綿詰めはやらない。
または、少し詰めるなど、あるそうですが、現在、どのような死後の処置をするのでしょうか。
- ・看取り、施設によっては詰め物(綿)しない場合もありますが、どちらが良いのでしょうか？
- ・実演中の足元からの清拭は、何か意味がありますか。
看護学校時代に臨終時の死後の処置は、顔から頸、胸、腹と、順に習ったのですが。
- ・何十年と行われてきた看護師による死後の処置は、今、見直されてきています。
エビデンスのない死後の処置から、グリーンケアにつながるエンゼルケアにしていこうという時代です。
実演の死後の処置は、まさに原始的な処置の方法でした。
この方法を亡くなられた方にしているのであれば、会社として方法を見直すべきだと思います。
例えば、表皮もはがし再生能力のない顔に、剃刀の使用は厳禁ですが、されているのですか？
また、腹部の圧迫、チンカラーの使用など。
- ・病院では息を引き取るまで点滴や治療をしていることがほとんどだが、老健での看取りは点滴をしたとしても1日500ml程度で、ほとんどが徐々に水分も食べ物も口からとれず、点滴の針も入らなくなるため、しなくなります。
そのような状態のご遺体の変化は違いますか？
- ・エンゼルケアの再確認をすることができました。
- ・湯かん〜入浴するタイプは、どのくらい行われているのでしょうか。
点滴等をしていてできてしまう水泡については、どのように手当て(予防)したら良いのでしょうか。
- ・家族の話をもっと伺いたかったです。

6.葬儀屋さんへの質問、要望など（つづき）

- ・清拭を足から行うことは何か意味がありますか？教えてください。
顔から行っていました。
- ・施設への希望を、もう一度まとめて教えてください。
- ・利用者のご家族からのクレーム、どんなことに不快感を感じているのかを、もっと知りたかった。
(アンケートからも)
(質問の時間を多くして頂ければ良かったかなと思います。)
- ・本日は貴重なお話をありがとうございました。
私どもが施設で行う死後の処置と違い、葬儀屋さんの行う処置には高いプロ意識を感じ、見習うべきところがたくさんありました。
デモンストレーションを見学して、遺体に対する尊厳の念を感じて、処置しているのだと思いました。
- ・納棺師の方は、どのような資格が必要ですか？
心を込めて葬儀をされたのに、努力が報われなかったことはありますか？
- ・もし、お金のない方がいたら、どうしますか。
エンゼルメイクを、母のとき、しなかった。声をかけてくれなかった思いがあります。
- ・納棺師より、納棺時の注意点・留意点について知りたかった。
- ・施設での勉強会をしていただきたいと思います。
- ・散骨について:手続き、費用。
家族葬について:お坊さんはどうしても呼ばなければいけないのでしょうか？
- ・死後、時間経過の遺体の変化(個人差はあるが)を、良否含め詳しく知りたかった。
- ・演習の清拭で、足から行っていたのですが…気になりました。
確かに、何が正しいということはないと思いますが、足からですか？
上の方からの概念があったので、何か理由があるのでしょうか。
- ・ご家族の意見を聞くことができ、参考になりました。
- ・以前、親族が亡くなり、葬儀社との関わりがあります。
そのとき、とても親切に説明してくれたり、手順も良かったのですが、故人が自宅に戻り
すぐに葬儀の金額の説明が始まったときは、びっくりしてしまい、悲しんでいるのに、どうして
すぐに葬儀のお金の話になるんだろうと思った。
- ・病院で綿詰めや化粧した後、どうしてるの?やり直すの?
いろいろな方法があるようなので、教えてほしい。セット等の紹介してほしい。
- ・施設で行ってもらっては困る、というような死後処置。
- ・死者に対して、今後も最後のお声を聞いてあげてください。
- ・直葬という言葉をよく耳にします。
葬儀に対する考え方も、時代と共に変化をしています。
寺側や葬儀社の方々の常識だけを通すと、非常に辛い思いをされるご遺族もいらっしゃることを
理解していただければと思います。
(寺が納得しないことが多いことは、わかります。)

7.感想や意見、今後希望する研修について

- ・横浜祭典株式会社さまに感謝申し上げます。
今後も老健が統一したケアができるように、実践的研修を計画していただければ幸いです。
(看護・介護の連携の中で)
- ・葬儀屋だからこそ知り得る、家族の想い等、一般的な話以外のことを聞きたかった。
- ・清拭の順は、顔から下肢と教わりました。足の後に顔を拭くのは抵抗があります。
- ・納棺師のテクニックを見たかったのですが、昔の病院での方法と大差がなかった。
- ・グリーンケアについては、専門の方で良いのではないかと。
- ・自分が現在まで働いていて、エンゼルケアに何度か立ち合わせていただくことがありましたが、死後の処置をご家族の方と行うとき、行いたい方がいらっしやらなかったが、様々なご家族の気持ちもあるだろうし、改めて考えさせられる研修になりました。
- ・実際、関わる人からのお話が聞かれて良かったです。
- ・ペースメーカー挿入された方への対応が、はっきりできたので良かった。
- ・施設での医療依存の現状など。
(老健での医療は、どこまで可能か？人員・経済面で。)
- ・常に真心を込めて行えば、必ず通じるものがあると思います。
色々な方法があつて良いと思います。
家族や本人等の考えを生前から話し合うことは、良いことだと思いました。
- ・もっとグループディスカッションを取り入れたほうが、他施設との情報共有・問題の解決ができると
思いました。
- ・ご家族様からのアンケート内容が参考になりました。
グリーンケアの詳しい内容を知りたいと思います。
- ・今まで自分の行ってきたエンゼルケアと違い、他の方法があるという情報を得ることができて
良かったです。
- ・看護師レベル(センス)をどう対処するか。
下手な看護師がするより、葬儀屋さんがした方が良いと思えた。
- ・施設・病院から先のお世話、大変なことを改めて知りました。
遺族の声も知ることができました。
- ・病気で急死する場合と、ターミナルケア後、枯れるように死を迎える方とで、数時間後、私たちの
手から離れたご遺体に、どのくらい違いがあるのかなど、葬儀屋さんにだからわかる情報を教えて
いただきたかった。
- ・今、施設で行なっているエンゼルケアとは全く異なりますが、エンゼルケアの重要性、大切さを
グリーンケアの意味などから改めて感じました。
また、今まで多くのご遺体・ご家族と関わってこられた経験のお話が聞け、良かったです。
- ・研修の時間が午後なので、ゆとりを持って参加することができて良い。
- ・デモンストレーション、お疲れさまでした。
ただ、看護師の研修では不必要かと思えます(紙上+説明だけで十分だった)。
できれば他の職種の方々に見学させてあげたいと思いました。
- ・普段、あまり深く考えたことがなかったので、とても良い機会を得て良かったと思います。
施設では看取りもやっているので、参考にしたいと思います。

- ・私も親族と別れることになり、いまだ悲嘆な日が続いています。
いずれ死すものとし、良いケアをし、これからの看護に続けて行いたいと思います。
- ・今回の研修を参考に、エンゼルケアに当たりたいと思いました。
遺族に、ただ寄り添い、話を聴くことのできる人間になりたいと思います。
- ・家族からの質問がもっと(施設・病院のこと)知りたかった。
- ・実演は納棺師の方のを見学し、私たち看護師との違いが見学できるのかと思っていました。
病院・施設で行った後、葬儀屋さんが再度行うエンゼルケアの意味や違いを知りたかったです。
- ・実践だらだと長く、意味のないものだったと思う。
一連の流れを、さらっとやってくれたほうが分かりやすかった。
書面は補足と言っていたのに、実践で殆どやっていない。
丁寧な話し方すぎて、とても聞きにくい。
- ・死者は肉体との別れであり、霊体を霊の世界へ送り出すためのものなので、丁寧な対応をしてください。
- ・ご参考にされた文献からも、情報の古さを感じました。
今後増加する施設や在宅での看取りにシフトした内容も、次回にはご講義いただければと思います。
- ・今後の研修希望：①災害時対応の実際と、神奈川県対策など
②老健における苦情対応、法的責務、接遇
今日は、利用者様が私たちの手から離れた「その後」について知ることができ、参考になりました。
- ・今後の研修希望：新しい褥瘡ケア、他、皮膚トラブル対処法などの研修。
前半のエンゼルケア、できれば画像で見れると良かった。
施設職員に対する家族の気持ち裏話に興味を持ったのですが、期待していた内容と違っていました。

【今後希望する研修テーマ】

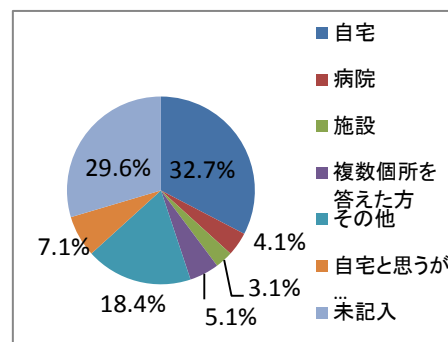
- ・画像の見方、ECGの読み方(ともに、代表疾患)
- ・高齢者の結核・胸膜炎について
- ・介護でも関われる医療、急変時の対応
- ・看護と介護、又はリハビリ、Dr.、ケアマネとの連携について
- ・高齢者施設における看護記録について
- ・キャリアパス、クリニカルラダー、評価・システムについて、フィッシュ効果
- ・施設における看護職と介護職の仕事(これは看護、これは介護)
介護職員が少なく、看護職員が介護職も行うことが増えているため、ボーダーラインがなくなってきている。
- ・患者様・利用者様に対するトランスファー講座
- ・職員の安全確保のための腰痛対策方法
- ・各施設の特徴・カラー・売りなど。どのように工夫しているか知りたい。
- ・介護者の育成、看護師の質の向上。
- ・災害時の看護。

8.「看取りの場所」についての、現在のあなたの考えを聞かせてください。

将来、人のお世話になるとしたとき、どこで看取ってほしいと思いますか？

理由も併せて、教えてください。

| | | |
|-------------|------|-------|
| ① 自宅 | 32 名 | 32.7% |
| ② 病院 | 4 名 | 4.1% |
| ③ 施設 | 3 名 | 3.1% |
| ④ 複数個所を答えた方 | 5 名 | 5.1% |
| ⑤ その他 | 18 名 | 18.4% |
| ⑥ 自宅と思うが… | 7 名 | 7.1% |
| ⑦ 未記入 | 29 名 | 29.6% |



★「自宅」と答えた方 …32名

- ・自然に枯れるように死を迎えられるなら、自宅が望ましいと思う。
だが、子どもたちの世話にならなければならないこと、皆仕事を持っているし、難しいです。
そのときにならないとわからないですね。
- ・自宅が理想だが、できれば人に迷惑がかかることなく、ひっそり逝きたいです。
- ・長年暮らした、慣れた懐かしい空気の中で、家族に囲まれて。
- ・可能であれば自宅。慣れ親しんだ場所なので。
- ・住み慣れた自宅で。
長く一緒にいた家族に看取ってほしいから。
- ・医療を希望しないので、できれば自宅。環境・家族状態によるが。
- ・愛する家族と一緒に過ごし、安心したい。
- ・できれば在宅が良い。
- ・慣れ親しんだ場所だから。 他1名。
- ・家族の負担になりたくないが、期間が短ければ自宅が良い。
- ・不要な医療を受けたくないの。
- ・自分が一番自由でいられる所。
- ・できることなら自宅で。
- ・住み慣れた家での最後にしたい。
家には自分の歴史があるので…。
- ・自宅を希望。訪問ケアを頼みたい。
- ・住み慣れた家で最後を迎えたいです。 他1名。
- ・自宅ー住み慣れた空間
- ・叶えられるのであれば、自宅で安らかに眠りたい。
施設・病院だと騒がしくて、人生の回想ができないため、ゆっくりと思い出を胸に天に召したいと思います。
- ・自宅を望みたいー生活の中にいたい。
- ・やはり自宅で、家族に見守られ、最後の感謝を伝えて亡くなりたいです。

8.「看取りの場所」についての、現在のあなたの考えを聞かせてください。
 将来、人のお世話になるとしたとき、どこで看取ってほしいと思いますか？
 理由も併せて、教えてください。（つづき）

★「自宅」と答えた方（つづき）

- ・ 最後は、自分の好きなもの・ことに囲まれていたいから。
- ・ 他人にお世話になることは、恥ずかしさを感じる。
- ・ 自宅で看取ってほしい。常に家族と一緒に過ごしていきたい。
- ・ 身の回りのことができて老人なら、自宅が良いです。
自由に過ごせる中で、身内に見守られてというのが、安らかなように感じます。
- ・ 自宅で、とは思いますが、家族に見守られながら、悔いなく言葉をかわしていきたい。
- ・ 自宅で看取りを希望します。
親しい親族に囲まれ、笑顔で自然に死を迎えたい。
医療費・経済的にも、病院では大変だから。
冷たい医療従事者には、看取りしてもらいたくないと思います。
→ 私も含めナースは冷たいイメージがある。
- ・ 家族に最後に看取ってほしい。
状態によって入院中にあるも、死の前に自宅へ退院したい。
- ・ いろいろなサービスを受けることができることから、慣れ親しんだ自宅で死にたい。
- ・ 家族が健在なら、自宅を希望します。
訪問看護の経験で、家で看取ることの素晴らしさを感じていたので。
- ・ できれば家族に見守られながら、自宅が良いとは思う。
自分の住み慣れた所、好きなものに囲まれ、旅立ちたい。

★「病院」と答えた方 …4名

- ・ 家族に迷惑を、あまりかけたくない。
- ・ 身内に迷惑をかけたくない。
- ・ 家族に迷惑かけたくない。いろいろがスムーズにできそう。

★「施設」と答えた方 …3名

- ・ 特養。
- ・ 子どもが男子のみなので、状況によって変わると思いますが、施設や専門職が良い。
- ・ 思いのあるスタッフにみてもらえれば、施設が良いと思っている。

★複数個所を答えた方 …5名

- ・ 在宅 or 施設・ホスピス
- ・ ①自家(家族に送られたい) ②自分の好きな施設(特養)
- ・ 病院ではなく生活の場で。生活の場は、自宅 or 施設(尊厳ある死が迎えられる)。
- ・ 自宅 or 施設
- ・ 病院 または福祉施設(身寄りがないため)。

- 8.「看取りの場所」についての、現在のあなたの考えを聞かせてください。
将来、人のお世話になるとしたとき、どこで看取ってほしいと思いますか？
理由も併せて、教えてください。（つづき）

★ その他の解答 …18名

- ・ 尊厳ある対応ならば、場所は問わない。
- ・ 家族が立ち合ってくれればどこでも良いと思うが、施設での看取りであると頻回にカンファレンスがありそれも家族には負担かなと思う。
- ・ 場所はどこでも良いと思っているが、親しい人に看取ってほしい。
- ・ 自分を知る人がいる所であれば、病院であれ、施設であれ、自宅であれ、場所はどこでも良いと思います。
但し、施設での看取りが、人的・物理的環境が整えられ、業務の流れの中での看取りとならないこと、個人の人生と向き合える体制がある、ということが大前提になると考えます。
- ・ 家族が負担にならない場所であれば、どこでも良い。
死に行く者より、残された者が、悔いの残らないようにしてほしい。
できれば、家族に見守られながら、息を引き取りたいと思います。
- ・ 残っているものが負担にならない所なら、どこでも良い。
- ・ 場所はどこでも、家族が周りにいてくれたら良い。
- ・ 自分がどんな年の取り方をするのか、どんな病気になるかが、全く見当がつかない。
幸い、子どもがいるので、子どもに託したいと思います。
- ・ 選択ができることが大事。自宅か病院か施設か。
周囲に友人・家族がいれば、施設でも良いように思う。
- ・ 高齢者なら、本人か家族の希望する所で良いと思います。
- ・ 家族に看取られたいです。
- ・ 自分を看取ってくれる家族の思うところ。負担にならないところで良い。
- ・ 現在の利用者を取り巻く環境を見ると、病院や施設で亡くなるのは仕方ない。
死にゆく方、家族への援助がもっと増えていく。
老健は看取りの場として期待されているのではと思います。
- ・ 家族に迷惑をかけたくないので、できれば病院や施設で看取ってほしいと思っている。
- ・ 病院、施設、ホーム、どこでも状況により、それを受け入れるしかないと思う。
孤独死は避けたい。
- ・ 安心して最期を任せられる場所（雰囲気・スタッフの心遣い）がある所が良い。
- ・ 施設・家・病院、どちらでも良い。
丁寧な対応をしてもらえれば良い。
- ・ 場所ではなく、自分自身の尊厳が保たれるように対応してもらえる人に看取ってほしいと思います。

8.「看取りの場所」についての、現在のあなたの考えを聞かせてください。
将来、人のお世話になるとしたとき、どこで看取ってほしいと思いますか？
理由も併せて、教えてください。（つづき）

★「自宅」と思うが… という意見 …7名

- ・ 自宅で看取ってほしいですが、長く患っているようなら、病院か施設でも。
やはり自宅が一番落ち着きます。
- ・ 基本としては、自宅が良いと思う。
ただ、家族の協力が無理であるならば、病院ではなく施設にて、生活の場から最期を迎えたいと思う。
- ・ 家が一番ですが、残された家族に迷惑がかかるので、病院で良いと思います。
- ・ 「自宅」とも思いますが、嫁として入った家なので、家族へ迷惑をかけたくないので、
プロのいる病院等が良いかなとも思います。
- ・ 在宅で看取ってもらえることが理想とは思いますが、施設でも看取りができる所ならば良いと考えます。
- ・ できれば自宅で最期を迎えたいが、家族への負担も大きいので、施設や病院で看取られる
ことになるだろうと思う。
- ・ 自宅で家族に看取ってほしいと思いますが、家族の気持ちや不安を考えると、医療施設に
なるのかも思います。
訪看や往診が充実していれば、そのあたりは解決するのかな、とも思いますが。

★ 未記入 …29名